

# 気管支喘息患者さんにおける機能性ディスペプシア症状の有症率の検討 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間： 2018年11月16日～2019年3月31日**

## 〔研究課題〕

改訂Fスケール問診票を用いた気管支喘息患者さんにおける機能性ディスペプシア症状の検討

## 〔研究目的〕

これまでに気管支喘息患者さんに逆流性食道炎の合併が多いことはわかっていましたが、機能性ディスペプシアとの関連は不明です。両者は夜間症状など関連する部分もあるため、気管支喘息患者さんの機能性ディスペプシア症状の有症率を調べます。

## 〔研究意義〕

気管支喘息と機能性ディスペプシアの関連を調べることで、今後気管支喘息のコントロールの改善につながる可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

2017年4月から2018年3月までの間に帝京大学医学部附属病院呼吸器内科を受診し、これまでの診療中に改訂Fスケール問診票にご回答いただいた気管支喘息患者さん約200名について、機能性ディスペプシア症状の有症率を調べます。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学

責任者：帝京大学医学部内科学講座 呼吸器・アレルギー学 教授 長瀬洋之

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には匿名化を行うため、患者さんが特定されることはありません。

**対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学 長瀬洋之

研究分担者：大学院生 東名史憲

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 40320〕